

## 平成26年度 部局長マネジメント方針

にしむら たもつ  
教育長 西村 保



### 私の決意

「人学ばざれば、道知らず」という中国の言葉があります。人間は学んでこそ、人間のあるべき道を知ることができるという意味です。「人間のあるべき道」とは、基本的な教養や人間としての心構えです。その道を知るために、人は「生きる力」を身につけることが必要です。そしてこの「生きる力」は、生きている限り必要不可欠なものであり、学ぶことに終わりはありません。この終わることのない学びのため、東大阪市では、長期的な視野に立ち施策の目標を立て、さらに学校、市民、地域、行政などのすべての主体が連携しながら目標を共有し、その達成に向けた取組みを推進していきたいと考えています。

現在、学校教育では学力向上をめざしており、学びのトライアル事業として、学校図書の整備と活性化などにも取り組んでいます。また、昨今叫ばれているいじめの問題に関しては、豊かな心の育成やいじめを許さない学校園づくりをめざしています。ほかにも、特別支援教育の推進や、学校施設の耐震化、学校トイレの洋式化、通学路の安全確保など、学校教育に係るに様々な課題に取り組んでいます。このように、東大阪市の学校教育では、子どもたちが社会をたくましく生きていけるよう、確かな学力、豊かな人間性、健康・体力など、子どもたちの「生きる力」を育成しています。

社会教育に関しましては、これまで同様、市民の皆様が学んだりスポーツをしたりする場や情報を提供していきます。これとともに市民の皆様がいつでも学べる場としての図書館や文化財関連施設をよりよいものにするため、基本構想の策定などを進めていきます。このように、社会で生活するすべての人々が誰でも気軽に学習やスポーツに取り組むことができ、その活動の中から「生きる力」を身につけられるよう取り組んでいきます。